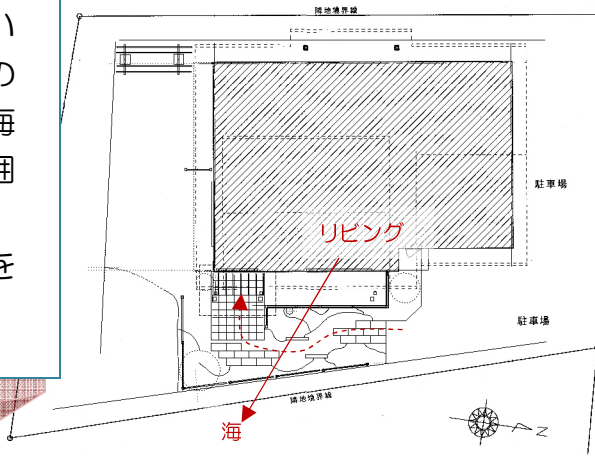


## 小名浜・S邸の庭

庭を作るにあたってのご要望は、リビングでくつろいでいる時にリビング前のアプローチを通る来訪者の視線を気にしなくてもいいこと、そのリビングから海を眺められること、そして、すっきりとした和の雰囲気。  
海を眺めるのも来訪者の視線も、リビングの同じ窓を通して。見られたくないけど、眺めたい。



まずは、リビングとアプローチの間に千本格子を設けました。これで、アプローチ入口からリビング方向への斜めからの視線をカットします。

リビング窓の正面となるアプローチ中ほどでは、千本格子の目隠し効果が効かなくなってしまうので、ここでは来訪者の意識をリビング方向から引き離す工夫をしました。つまりは、足元の景色に変化を付け、アプローチをリビングと反対方向へ振り、その先には一段低くなった竹垣越しに海が見える。。

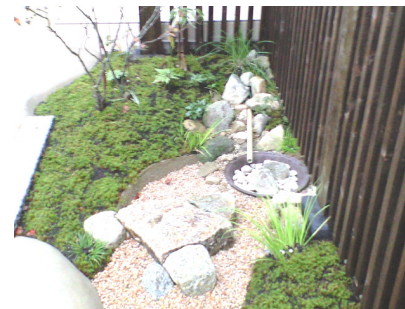
竹垣は、アプローチ入口では人の背丈ほどにして、隣家の気配を仕切っています。そして、同様の高さで同様に縦のラインを使った千本格子と対になって、来訪者の意識をアプローチの空間に導きます。その竹垣は、途中で高さを下げることで、そこから見える海の眺めをアプローチ空間の中に取り込み、竹垣自体もまた、奥の庭の景色の中に取り込まれてゆきます。



(見えない工夫)

玄関屋根の柱に添わせた雨樋とその先の集水枡。樋と枡を直接はつなげずに、一度庭に流し、土が吸いきれない分だけを、水鉢を介して升に流し込むようにしています。奥の庭も、ぬかるまないようにしながらも、なるべく雨水を土にしみこませ、余った分だけ側溝に排出するようにしています。

降水量の多い夏場、蓄えられた水分は、植物の葉から、あるいは直接地表から蒸発するときに気化熱を奪って、地温の上昇をいくらかは防いでくれるはず。室外も少しは涼しくなるかもしれません。何よりも、植物が喜んでくれればいいなあ、と。



<http://www.e-oniwa.com/>

TEL 26-0641 FAX 26-0759

〒973-8406 いわき市内郷高野町番所 25-2

■ 北郷創庭舎